

(独) 森林総合研究所 「男女ともに個々の力を存分に発揮できる研究所」を目指して

森林総合研究所は本支所体制をとって北海道から九州まで複数の地方組織を有する研究機関であり、全国的に研究を展開しているため、全国への出張や転勤があります。文部科学省科学技術振興調整費女性研究者支援モデル育成事業「応援します！家族責任を持つ女性研究者」（平成19～21年度）を実施したことを契機として、この厳しい条件下でも育児・介護といった家族責任を持つ研究者が研究を継続できるよう支援体制・環境（エンカレッジモデル）を整備してきました。

事業終了後は、「森林総研男女共同参画宣言」（平成23年1月）、「第3期中期計画期間の推進策」（平成23年6月）を発表し、「女性研究者支援」からさらに一步を踏み出し、男女ともに個々の力を発揮できるよう、男女共同参画の推進とワーク・ライフ・バランスの実現を目指した取組みを進めています。

【推進体制】

女性研究者支援モデル育成事業時に理事長を本部長とするエンカレッジ推進本部を設置し、現在もエンカレッジ推進本部が主導して支所等地方組織を含めた全所体制で支援を実施しています。エンカレッジ推進本部の中にエンカレッジ推進委員会、男女共同参画室を設置して、それぞれ活動支援組織、実質的な運営組織として活動しています。

【現在の取組 — 第3期中期計画期間（平成23-27年度）の推進策 — 】

(1) 女性の参画の拡大

期間中の女性研究者の応募・採用比率、管理職における女性割合に数値目標の設定。女性の応募促進のため、採用情報に関連情報の充実など。

(2) 男女共同参画意識の啓発・浸透

所内の重要会議において、取り組み及び成果の状況の周知。セミナー等を利用した積極的な意識啓発。取組に関するHPやパンフレットによる周知など。

(3) 仕事と生活の調和の推進

出産・育児・介護など家庭責任を持つ職員の支援のために、各種制度の周知・利用促進。勤務時間の弾力化を図り、超過勤務の縮減に努めるとともに、年次有給休暇の取得を促進など。

(4) キャリア形成等に対する支援

女性研究者等に対する研修の機会の充実。様々な働き方やキャリア形成に応じたロールモデルの発掘、活躍事例の提供。相談窓口等を活用して、女性が働き続けていく上での悩みや心配事などの相談に対応。

(5) 地域社会および関連機関との連携

農業関係独法やつくば市周辺の教育研究機関と連携・協力。市町村の男女共同参画室等関係機関とも連携・協力して取り組みを推進など。

【今後の取組について】

◎介護情報の充実（ガイドブックの作成、セミナーの開催）、男女共同意識調査等に基づく職場環境改善の現実的な対応策の検討など

【連絡先】 独立行政法人 森林総合研究所 男女共同参画室

TEL : 029-829-8360 FAX : 029-874-8507 E-mail : geneq@ffpri.affrc.go.jp

URL : <http://www.ffpri.affrc.go.jp/encr/>

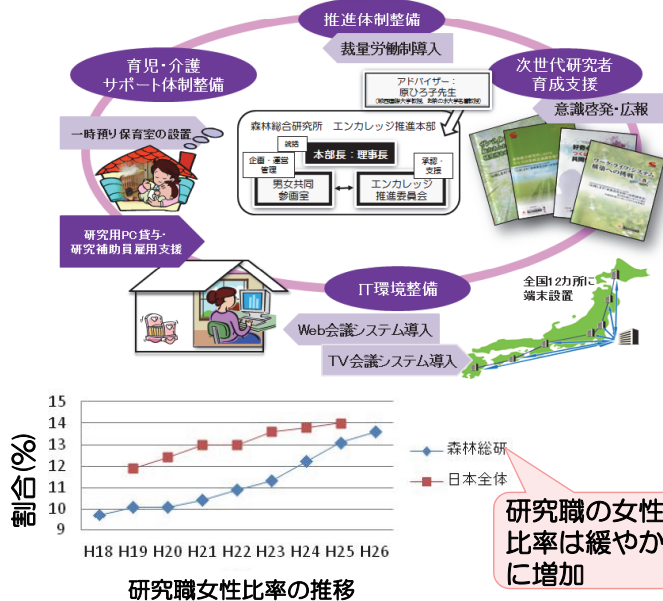
「男女ともに個々の力を存分に発揮できる研究所」を目指して

【1】男女共同参画の推進に向けた取組

森林総合研究所は、文部科学省科学技術振興調整費女性研究者支援モデル育成事業「応援します！家族責任を持つ女性研究者」（平成19～21年度）に取組み、男女共同参画の取組みの基盤を作って以降、「森林総研男女共同参画宣言」（平成23年1月）、「第3期中期計画期間の推進策」（平成23年6月）を発表し、「女性研究者支援」からさらに一步を踏み出し、男女ともに個々の力を発揮できるよう、男女共同参画の推進とワーク・ライフ・バランスの実現を目指した取組みを進めています

- ★平成27年度までに下記の数値目標達成をめざしています
 - ・女性研究職の応募・採用比率30%に
→現在の 応募平均17%
採用平均30%
 - ・女性の管理職比率 現在1.6%→5%に

インクルージョンモデル



【2】具体的な取組について

【2-1】意識啓発の取組を強化

★男女共同参画やロールモデルに関するセミナーを開催し、キャリア形成や男女共同参画に対する職場の理解を深め、職員が働きやすい職場作りに取り組んでいます。

★男女共同参画週間中の展示



『総研のパパチカラ』としてイクメンリーコラム、男性が取得できる休暇制度等の展示を行い、男性の育児参加に関する情報を提供

★意見交換会の開催



家庭力と仕事力

職員間・セミナー講師との交流で情報共有・意識改革を推進



ロールモデル・キャリア形成

★職員が働きやすい職場環境作りの推進



出産・子育てに関する情報共有と相互理解

下記HPからご覧いただけます

【2-2】地域・他機関との連携および情報発信

★外部の機関誌等を通じた成果のPR



つくば市男女共同参画だより

大日本山林会会誌「山林」

★HP・広報誌を活用した情報提供



育児・介護情報の充実

関連制度変更等のお知らせ

機関誌の活用

【3】今後の課題

★介護支援の充実、意識調査等に基づく職場環境改善の現実的な対策を検討する必要があります。

独立行政法人森林総合研究所

お問い合わせ

男女共同参画室
FFPRI GEO Gender Equality Office

TEL 029-829-8360, FAX 029-874-8507
E-Mail geneq@ffpri.affrc.go.jp URL: http://www.ffpri.affrc.go.jp/encr/

